



学校便り

だしる

自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和6年12月23日発行

合い言葉やればできる

根性坂に立ち向かう子どもたちに拍手

校長 土岐 邦寿

令和6年も終わりを告げようとしています。長いと感じられた2学期も冬休みが近づいてきました。今年は新生田代中学校創立20周年ということで、いろいろな行事に20周年記念の冠をつけて取り組んできました。体育大会や文化祭などでは3年生を中心に新しい種目やイベントを組み立てて入れてくれました。保護者の方々、地域の方々も楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

今学期最後の大きな行事として校内マラソン大会がありました。本校は年間を通じて、朝のランニングを行っています。鍛えているとはいえ、男子5キロ、女子3キロはかなりの長丁場。走るのが苦手な子にとっては憂鬱な行事です。あらかじめ設定した自分の目標タイムに向けて、精一杯走り抜く姿を見ることができました。本校のマラソン大会のすごいところは最後の最後に校門前の根性坂を駆け上がることです。5キロ・3キロの終盤、棒のようになった足で帰ってきたのに、最後の最後で立ち上がる厳しい坂は走者にとって地獄のように感じることでしょう。でも、そこを歯を食い縛って駆け上がっていく姿は、「さすが田代中の生徒だ」と感心しました。根性坂とはよく名付けたものです。マラソン大会は保護者だけでなく、おじいさん、おばあさん、地域の方々も数多く応援してくださいました。「うちの孫ン子が、力強く走り抜けて行って感動した」と言って涙するおばあさんもいらっしゃいました。みんなの走りが感動を届けてくれたのだと思っています。

マラソン大会の当日は20周年記念を盛り上げる意味を込めて、ドローンによる航空写真を撮りました。当初の計画ではマラソン大会終了後の撮影としていましたが、風が安定していないため、マラソン大会の前に撮影をすることとなりました。急な変更、しかも早朝であったにもかかわらず、保護者の方々が多数参加してくださり無事撮影することができました。創立20周年記念パネルになる予定です。完成を楽しみにしておいてください。

令和6年も生徒一人一人が大きく成長したのを感じる1年でした。新しい生徒会も、本格的に動き出しました。試行錯誤しながら前向きに取り組む姿を見ると嬉しく感じます。日頃から、温かく見守ってくださる保護者や地域の方に感謝しつつ、来年も田代中学校が大きく飛躍することを祈念したいと思います。よいお年をお迎えください。

